

○ 平成 26 年度事業実施状況概要

1 事業実施概要

7月、第三代総裁瑤子女王殿下が全事業所をご視察され利用者とのご交流を図られ、10月には合同運動会の実行委員長として例年のように司会進行もお務めいただいた。

本年度より、佐々木典夫会長・理事長が会長専任となり、新たに迎えた小林和弘理事長と石井参与は原則週1回の勤務とした。専務理事は配置せず、常務理事に法人本部事務局長の金井博を兼任とし、墨野倉克則常務理事との2名体制とした。併せて法人本部事務局の総務部長と企画部長の人事を刷新すると共に、6月に理事長・常務理事・総務部長・経理部長・企画部長で構成する「経営会議」を設置し、毎月1回以上開催し法人の重要課題を審議した。

2 本年度の重点計画に基づく事業の実施状況

(1) 組織の強化

理事及び評議員の一部変更に伴い、役割、権限、責任の範囲等を明確にし、経営会議では、課題別作業委員会として「退職共済制度及び諸手当の見直し委員会」、「世田谷更生館跡地利用検討委員会」、「財源基盤の確立及び中長期計画の策定検討委員会」を発足し、各種課題の具体的な解決を図った。これらをもって法人本部の内部管理を強化した。また、厚労省「社会保障審議会福祉部会」等での議論に注視し、社会福祉法人への指摘と制度外の福祉サービス活動への期待に対して、行政や他法人と協働した生活困窮者対策に取り組む検討を開始した。

(2) 世田谷更生館改築の継続

世田谷更生館改築については、施設を通所事業に変更したために東京都補助金の実質対象外となり、世田谷更生館跡地には、同補助金を得て友愛園の建替え計画として申請準備を開始した。ところが、敷地内に区道等が登記されていることが分かり、財務省管轄部分は払下げ手続きを終えたが、区道については世田谷区への折衝を繰り返し図ったものの処理が不調のため、有期限の当該補助金の助成申請は断念した。しかし、この区道を処理できないとこの地における一切の建物整備は建築許可がおりないことから、まずは引続き世田谷区と区道の処理について継続して検討することとした。

(3) 職員確保と人材育成

職員確保においては、法人ホームページ、ハローワークや東京都福祉人材センターのほか、各種の媒体を活用したが十分な成果を得ることはできなかった。

一方、教育委員会では、次年度に向けた教育体系の見直しを行った。法人への帰属意識の醸成を図る様々な仕組みとして、「新入職員研修・同フォローアップ研修」、「リーダーシップ向上研修」、「施設長研修」を計画するとともに、法人創立記念日に「事例（研究）発表研修」の開催を予定した。

(4) 今後予想される首都圏直下型地震への整備

世田谷施設では区長と二次(福祉)避難所協定を締結しており、区が開催する大規模災害を想定した図上訓練等に引続き積極的に参画した。各事業所を所管する自治体の災害対策計画を踏まえ、法人としての事業継続計画(BCP)策定を目指すこととし、まずは職員の自動参集基準を定め次年度より運用することとした。

(5) ISO 9001:2008「再認証審査」

前年度の標準化推進事務局長の退任に伴い、組織体制を実態に即して見直した。標準化推進事務局長は引続き法人本部企画部長が担い、その事務局員は原則として世田谷・板橋・町田・港の所在地毎に1名以上配置した。「ISO内部監査員WG」を「マネジメントシステム（MS）検討委員会」に改名し、標準化推進事務局の下部組織と位置づけた。各種YSの見直し等も順調に進捗し、9月4～5日の外部機関による審査の結果、4件の要観察事項の他はマネジメントシステムにおける不適合もなく、認証継続の承認を得ることができた。要観察事項は、「様々な蓄積データの予防的活用」や、「要員・目標・測定機器の各管理面の充実」であり、今後の改善に向け全事業所に水平展開を図り改善することとした。

(6) 各事業所の主な事業計画の実施状況

① 世田谷施設

法人本部事務室内に常務理事室を整備し、経営会議と世田谷施設長会議の開催会場とした。地域社会との連携をより推進することを目的に、4月に「地域連携検討委員会」を発足した。本年度より「盆踊り大会」、「友愛ふれあい祭り」、「感謝の集い」は、本委員会の基に開催した。

また、平成26年3月30日砧地域包括支援センターが世田谷区砧まちづくりセンター（砧5丁目）内に移転後は、地域の情報共有が強化されたこともあり、地域で開催される様々な交流活動や防災訓練等の視察に本委員会が出向く機会が増えた。

さらに、10月には地域交流の利便性向上を目的に、介護保険関係の事務所と職員用サービス準備室を移設し、本館1階南側に第二多目的室を新設し、別館2階に第三多目的室を整備した。併せて、法人内の全事業所のリーフレットを法人本部の玄関に配架するとともに面談コーナーを設置し、近隣住民の絵画等を展示する「ご近所ギャラリー『ああと・ゆうあい』」を試行的に開始した。

② 世田谷更生館

事業経営の安定化に向け、新規利用者の確保と利用率の向上に向け取り組んだ結果、新規利用者は11名で退所者が9名と2名増に留まったが、利用率は昨年度比7.5ポイント増となり、事業経営の安定化に寄与した。また、就労継続支援事業B型では目標工賃向上計画に則し、目標とした東京都の最低賃金の三分の一を達成し、平均工賃支給額は時給295円となった。

就労移行支援事業では本雇用1名、トライアル雇用1名を達成した。

③ 友愛園

今年度は、新規利用者5名を受け入れたが7名の退所者があり、前年度末比2名減になった。高齢者施設等へ移動退所する利用者も多く、なかなか利用者増に結びつかない。

旧世田谷更生館の跡地利用において、友愛園の建て替えを優先的に行うとの法人方針を受け、計画していた8人部屋の個室化は行わないこととした。

④ 東京聴覚障害者支援センター

利用者ニーズへの対応並びに安定的な事業経営を目的に、センター運営委員会の開催を行った。その中で新規に就労継続支援B型事業の新規開始について意見をいただき、関係機関との調整を行った。

聴覚言語障害者を中心に支援サービスを行ってきたが、今年度は精神障害者2名の体験入所と知的障害者1名の入所受け入れを行い、サービスの拡充に向けた取り組みを実施した。

⑤ コーポ友愛

重要課題として取り組んだ、入居者の確保は順調に推移し、年度末迄には世帯部屋1部屋を除き満室となり、事業運営は安定した。

⑥ 友愛デイサービスセンター

生活介護事業の利用者確保は大きな課題となっているが、残念ながら今年度も利用に結びつけることができなかつた。体調不良による欠席を可能な限り少なくするため、家族と連携して日々の健康管理に努めた結果、対現員利用率は 80.6%とかなり目標を達成することができた。

短期入所事業は空床を出さないよう努力したが、平均利用率は目標値を僅かに下回った。また、効率的な情報交換と問題解決を図るため委託業者と定期会議を開催することとした。

利用者の重度高齢化が進んでいる状況を踏まえ、医療的ケアを提供している重症心身障害者施設 7 施設に協力を求め、常勤職員全員が実習を行った。看護師による勉強会も実施し、医療的見識を深め支援のスキルを向上させた。

⑦ 友愛ホーム

1 年間の退所者数が開設以来最多となるなど、何かと落ち着かない年であった。入所者の重度化も引き続き進む中で、介護保険サービス利用の頻度は上がり続けているため、外部のサービス提供事業者の評価を行い、円滑な関係を築くための連絡会を開催した。

また、既存の集団で行うクラブ活動等への参加が減少する中で、利用者の個別のニーズにこたえるマンツーマンサービスを試行的に開始した。

その他、利用者の生活の質の向上と業務の効率化を目的として、様々な改善を施すための準備に当たった期間となった。平成 27 年度は支援員勤務体制の変更や利用者への支給現金の振込化など、新たなスタートを切ることになる。

⑧ 友愛荘

長年の懸案事項であった看取り介護は、4 月から PT を設置して取り組み医師や家族の理解を得て 7 月 1 日から導入することができた。高品質のサービス提供では、初めて園内運動会や宿泊旅行を実施するとともにクラブ活動や外出機会の拡大等日中活動の充実を図り、利用者やご家族から好評を得ることができた。障害者雇用については、2 年間の準備期間を経て 4 名を採用し、順調に雇用継続ができた。また事故防止では、リスクマネージャーを中心に分析や具体的対策に積極的に取り組んだ結果、町田市や東京都への事故に関する行政報告は年間 4 件と大幅に減少した。

⑨ 砧ホーム

経営財務面では、年間でのベッド稼働率 99%を達成し、収支は 130 万円の黒字となった。設備では、浴室及び入浴機器・床の張り替え・エレベーターのロック等、永年課題であった改修工事を終え、生活環境は大きく改善された。さらに、持ち上げないケアの検討を進め、年度末に 3 台のリフトを導入し運用を開始した。平成 27 年度は、介護報酬の改正により大幅な減収が予想され、ベッド稼働率を維持し、支出を減らすことや必要な加算取得の準備が急務となった。

⑩ 砧デイサービスセンター

「働く家族を支援するための“夕食提供が可能な延長デイ”」に取組み 3 年が経過した。その延長利用者数は一日あたり平均 7 名に達し一定のニーズを充足したが、センター全体の利用実績は 3 年前の年間平均利用率 77.0%から本年度 64.2%まで大きく減少した。その主な要因は制度改正によるもので想定の範囲内ではあったが、延長利用に伴うスライド勤務等の対策量に比べ、利用者数増加等の成果を得ることはできなかった。

⑪ 港区立障害保健福祉センター

ア 運営管理部

懸案であった職務分掌の整備が進み、係内業務の連携強化に取り組んでいるところである。運営管理部としては、概ね良好な事業実施であった。

イ 地域活動支援センター等

新規のサロン事業などを通し、ボランティアや一般区民との交流や情報提供等を目指してきた。目に見えて大きく変化したとはいいいくい面もあるが、着実に関わりを広げていることは評価できる。単年度で解決できる内容ではないため、引き続き活動を展開する。また、相談支援事業については着実に規模を拡大しており、今後も地域の中で果たす役割をしっかりと担っていく体制を組んでいく。

ウ こども療育パオ

兼ねてからの課題であった、職員の配置基準は港区と調整し明確にできたが、重度加算による非常勤職員の配置は具体化できなかった。保護者支援体制整備として新たに乳児(0歳から1歳児)及び保護者を対象にしたプログラムを実施し、指定日通園クラスと重症心身障害児通園クラスとの合同イベントも行き、通園に繋がるケース支援が展開できた。

エ 工房アミ

利用者の増加に伴い、今年度から3階の一部が工房アミの専有スペースとなり、4クラス体制での運営を開始した。懸念されたみなとワークアクティの利用者との接触等の問題もなく、安全に過ごすことができた。

センターの相談支援事業が拡大し、工房アミの利用者の相談も進んできた。互いの連携が深まり、課題・情報の共有が進んだ。

オ みなとワークアクティ

商品のブランド化は、包装資材、パンフレット、ポップ等を変更し終了した。トータルコーディネートしたことで企業からの好評価を頂き、ギフトの大量注文が増えてきている。

生産活動全体としては、売上12,000,000円を目標に取り組んだが、10,717,954円と達成には至らなかった。平均工賃は18,541円となり、前年度より1,442円上回る事ができた。

今後も目標を下げず、達成できるよう取り組んでいく。

カ 障害者レスパイト事業等

レスパイト事業の利用が多く、緊急一時保護の利用が困難になる状況がみられたため、緊急一時保護の利用枠を確保する取り組みを開始した。

⑫ 砧地域包括支援センター

「地域包括ケアの地区展開について 砧地区モデル事業」を開始した。まちづくりセンター、社会福祉協議会との連携体制を構築し、地域の身近な窓口として高齢者だけではなく障害者や子育て家庭などの相談にも対応するようになった。

⑬ 第一作業所(友愛書房)

いろいろな取組を継続し、売上に繋がるよう努力した。年度末に大口の注文を確保することができ、前年売り上げを大幅に上回る事ができた。

⑭ 砧介護保険サービス

特定事業所加算取得に向け、これまでの業務内容を大幅に見直すとともに、計画的に必要な準備を開始することとした。9月には、事務室を砧デイサービスセンターへ移設した。

3 平成26年度 社会福祉法人友愛十字会「方針書（目標）」に対する進捗状況

区分	方針 No	理事長方針	対象施設	目 標	
				管理項目	目標値と結果
A 経営 財務	A 1	組織の強化	法人 全施設	執行理事の体制変更・ 強化	経営会議 設置済
B 品質	B 1	ISO 9001:2008「更新審査」	全施設	平成26年10月	継続認証 承認済
	B 2	友愛十字会標準の大分類3A(施設 別の業務手順書)の整備	全施設	平成26年8月まで	
	B 3	YS3Aの整備進捗確認及びその充 実のための意思統一の機会として 教育委員会「内部監査員勉強会」 を開催する。	全施設	12回/年	自己監査及び 相互監査実施 済
C 人材 育成	C 1	職員に必要な力量を明確にし、計 画的に人材育成を行う。	全施設	法人内部教育 研究・事例発表会 外部教育 O J T	4講座未達成 2講座実施済 2回実施済 随時実施済 随時実施済
D その他	D 1	世田谷更生館改築の継続	世田谷 更生館	世田谷更生館改築につ いて検討	作業委員会 発足検討継続
	D 2	首都圏直下型地震に対する備え	全施設	被害防止のための備え	職員参集基準 策定済

4 各種計画の状況

(1) 主な会議の開催状況(年度当初の計画を見直した。以下は法人全体に関わる会議のみ記載した。)

名 称	目 的	開催頻度	開催実績
理 事 会	法人の経営上の重要事項に関する審議議決を行い、業務 執行の基本方針を決定する。	年3回	6回(うち書 面開催2回)
評 議 員 会	同 上	同 上	3回
経 営 会 議	法人の経営上の重要事項に関する課題別作業委員会を発 足し、その報告を基に業務執行の基本方針を審議する。	毎 月	6月～11回
経 営 委 員 会	法人の経営上の重要事項に関して審議する。	適 時	3月に5回
全 施 設 長 会 議	法人各施設の運営に関する重要事項の審議と各施設間の 情報交換及び連絡調整並びに ISO 9001:2008 要求事項の 「マネジメントレビュー」	毎 月	11回
MS(マネジメントシステム) 検 討 委 員 会	業務の標準化に関する計画立案と推進	年6回	7回
教 育 委 員 会	職員教育に関する計画立案と推進	年6回	6回
苦 情 解 決 委 員 会	各施設が提供する福祉サービスに係る利用者等からの 苦情の円満解決を図る	適 時	なし

(2) 防災訓練の状況

月	世田谷施設		東京聴覚障害者支援センター		友愛荘		港区立障害保健福祉センター	
	時間	出火場所	時間	出火場所	時間	出火場所	時間	出火場所
4	夜間	砧ホーム	昼間	A棟2階居室	夜間	厨房	昼間	(消防設備、避難路確認)
5	昼間	友愛園	昼間	消火訓練〈中庭〉	昼間	2F居室	昼間	(各事業所での避難訓練)
6	昼間	更生館	夜間	B棟2階居室	昼間	1F更衣室	昼間	1階(地震・津波想定)
7	夜間	友愛ホーム	昼間	講話・防災ビデオ	昼間	厨房	昼間	2階(火災想定)
8	昼間	コーポ友愛	昼間	B棟2階喫煙室	夜間	厨房	昼間	5階(火災想定)
9	夜間	友愛デイ	昼間	区民防災訓練参加	昼間	地震想定	昼間	6階(火災想定)
10	昼間	砧ホーム	昼間	講習〈図上訓練〉	夜間	3F居室	夜間	8階(夜間出火想定)
11	夜間	友愛園	昼間	B棟2階ボイラー	夜間	事務室	昼間	全域(総合訓練)
12	昼間	砧デイ	夜間	A棟3階居室	昼間	ボイラー室	昼間	災害用備蓄品の点検
1	昼間	友愛ホーム	昼間	防災センター体験	夜間	洗濯室	昼間	1階(火災想定)
2	夜間	コーポ友愛	昼間	B棟2階娯楽室	夜間	厨房	昼間	委託事業者向け講習会
3	昼間	友愛デイ	昼間	町会防災訓練参加	夜間	トイレ		地域防災勉強会参加

世田谷施設は成城消防署、東京聴覚障害者支援センターは志村消防署、友愛荘は町田消防署の協力を得て実施した。なお、友愛荘と東京聴覚障害者支援センターは9月に、それぞれ図師町内会・町田福祉園、板橋区・地元町会と、世田谷施設は10月に砧町会と、港区立障害保健福祉センターは11月に同一建物のシティハイツ竹芝と合同での防災訓練を実施した。

世田谷施設の自衛消防隊は、9月に成城消防署が実施する「自衛消防訓練効果確認審査会」に参加し、優秀賞を受賞した。

(3) 教育の状況(年度当初の計画を見直し、本年度の教育委員会主催の研修は以下のとおりである。)

① 基礎講座、衛生講座

6月19日～20日にかけて実施した。受講修了者は基礎講座12名、衛生講座13名であった。

② 研究・事例発表会

日程・場所	発表事業所	発表題目
7月15日 友愛荘	友愛荘	事故ゼロをめざして インシデントからアクシデントへの移行を阻む
	みなとワークアクティ	支援を通してみえてきた変化 ～36歳で手帳を取得～
2月17日 世田谷施設	砧ホーム	外出支援にみる利用者の自立への取り組みの成果 ～身近になったバス外出～
	砧地域包括支援センター	地域包括ケアの地区展開について砧地区モデル事業 ～準備から事業開始の現状～
		高齢者の転居に対する支援

(4) 苦情解決の状況

単位：件数

施設名	苦情受付状況				苦情分類					
	前年 繰越	本年 受付	解決 件数	繰越 件数	生活 支援	介護	食事	医務	職員 対応	その 他
法人本部	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
世田谷更生館	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
友愛園	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
東京聴覚障害者 支援センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
コーポ友愛	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
友愛デイサービス センター	0 (0)	0 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)
友愛ホーム	0 (0)	0 (18)	0 (18)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (11)
友愛荘	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧ホーム	0 (0)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧デイサービス センター	0 (0)	0 (16)	0 (16)	0 (0)	0 (2)	0 (11)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)
砧地域包括支援 センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
砧介護保険 サービス	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
港区立障害保健 福祉センター	0 (0)	0 (11)	0 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (6)	0 (5)
合計	0 (0)	0 (54)	0 (53)	0 (1)	0 (6)	0 (15)	0 (3)	0 (3)	0 (10)	0 (17)

「友愛十字会苦情解決規定」の定めに相当する苦情申込みの件数を示し、下段の括弧内は前述に相当しないが匿名を含む個人苦情に相当する件数を示す。

(5) 「友愛十字会標準 (Y S)」の整備状況

単位：件数

大分類 番号	内容	25年度末 保有件数	本年度の整備状況			26年度末 保有件数
			制定	改定	廃止	
0	総則	6	0	3	0	6
1	品質マネジメントシステム	28	0	22	0	28
2	業務管理マニュアル	142	1	12	0	143
3A	指導票・解説書類(施設別)	895	26	201	66	855
4	規程・規則類	56	1	14	0	57
合計		1127	28	252	66	1089

第1 法人本部

1 役員・評議員等の状況

(1) 役員及び評議員

昭和55年1月より34年7ヶ月の永きにわたり理事・評議員を務めていただいた町田英一氏が平成26年7月25日付で勇退された。後任には社会福祉法人多摩大和園副理事長の川崎裕康氏が選任された。

また、評議員では、平成26年7月26日付けにて板橋区社会福祉協議会常務理事・事務局長の岩崎道博氏及び友愛荘家族会役員の若林貴美江氏が就任し、22年4ヶ月の永きにわたり評議員を務めていただいた森野亮一氏が同年11月30日付で勇退された。

区 分	定員数	平成25年度 末の現在員数	平成26年度の異動		平成26年度 末の現在員数
			新任員数	退任員数	
理 事	11	10	3	2	11
監 事	2	2	—	—	2
評 議 員	23(12)	22(12)	5 (3)	5 (4)	22(11)

「評議員」欄は併任する理事数を含むものとし、括弧内は評議員の専任者を再掲した。

(2) 総裁及び顧問等

平成26年度末現在員	総 裁	顧 問	参 与
	1	—	1

(3) 平成26年度末の役員等の氏名(敬称略)

区 分	氏 名
総 裁	瑤子女王殿下
会 長	佐々木 典夫
理事長・評議員	小林 和弘
理 事・評議員	池堂 政満 三根 武 山崎 敏 遠藤 浩
	福田 督男 川崎 裕康 新垣 洋
常務理事	墨野倉 克則 金井 博 (11名)
監 事	多久島 耕治 高梨 智弘 (2名)
評 議 員	井手 精一郎 高木 金次 寺山 久美子 内藤 壽昭
	高橋 輝雄 金井Pak雅子 桂川 直幸 江藤 文夫
	佐藤 健二 岩崎 道博 若林 貴美江 (11名)

(4) 職員の採用及び退職等

事業所名	職員区分	平成25年度		平成26年度			
		年度末(3月31日)		4月1日～3月30日の		年度末(3月31日)	
		人員数	3月31日付 退職及び 異動減員	採用及び 異動増員	退職及び 異動減員	人員数	3月31日付 退職及び 異動減員
本部	常	8名		3名	3名	8名	
	非	1名		1名	1名	1名	
世田谷更生館	常	11名	1名	1名	1名	10名	
	非			1名	1名	名	
友愛園	常	14名		4名	2名	16名	
	非	6名	1名	3名	3名	5名	
東京聴覚障害者支援センター	常	10名				10名	
	非	11名		3名	2名	12名	
友愛ホーム	常	15名	2名	1名	2名	12名	
	非	4名		1名	1名	4名	
友愛荘	常	39名	2名	12名	13名	36名	1名
	非	9名		9名	3名	15名	2名
砧ホーム	常	32名	3名	4名		33名	1名
	非	9名	2名	4名	1名	10名	1名
友愛デイサービスセンター	常	11名	1名	2名	1名	11名	
	非	4名	2名	2名	1名	3名	
砧デイサービスセンター	常	16名	1名	3名	1名	17名	1名
	非	13名	3名	1名	2名	9名	4名
コーポ友愛	常	1名				1名	
	非					名	
砧地域包括支援センター	常	5名		1名		6名	
	非					名	
砧介護保険サービス	常	2名		1名	2名	1名	
	非					名	
港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター	常	19名	2名	2名	1名	18名	1名
	非	7名	1名		1名	5名	1名
工房アミ	常	28名	2名	5名	1名	30名	2名
	非	2名		1名	1名	2名	
パオ	常	26名	2名	3名		27名	2名
	非	6名	4名	7名	1名	8名	4名
みなとワークアクティ	常	7名	1名	1名		7名	1名
	非					名	
友愛書房	常	1名	1名			名	
	非	2名		1名		3名	
合計	常	245名	18名	43名	26名	243名	9名
	非	74名	13名	34名	18名	77名	12名

備考 1 各施設の職員数欄の上段は常勤職員、下段（網掛け部分）は非常勤職員を掲載している。

2 法人内の施設間の異動は、便宜上表中の「採用」欄に「転入」を、また、「退職」欄に「転出」を含めて計上した。

2 役員会の状況

(1) 第1回 理事会

- ① 開催日 平成26年4月1日(火)
- ② 場 所 社会福祉法人友愛十字会 世田谷施設 別館2階会議室 (世田谷区砧3-9-11)
- ③ 議 案
 - 第1号議案 理事長の選任について
 - 第2号議案 参与の委嘱について
 - 第3号議案 評議員の選任について

(2) 第2回 理事会・第1回 評議員会

- ① 開催日 平成26年5月26日(月)
- ② 場 所 こどもの城 9階906号室 (渋谷区神宮前5-53-1)
- ③ 議 案
 - 第1号議案 平成25年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 平成25年度各会計収支決算(案)について
 - 第3号議案 諸規程の一部改正(案)について
世田谷更生館運営規程
 - 第4号議案 評議員・理事の退任及び選任について
 - 第5号議案 役員等の改正、会長・理事長の選任、常務理事の指名、監事の選任及び参与の選任について

(3) 第3回 理事会・第2回 評議員会

- ① 開催日 平成26年11月27日(木)
- ② 場 所 こどもの城 9階906号室 (渋谷区神宮前5-53-1)
- ③ 議 案
 - 第1号議案 平成26年度事業報告(中間)(案)について
 - 第2号議案 平成26年度各会計収支補正予算(案)について
 - 第3号議案 世田谷施設敷地内の土地購入等について
 - 第4号議案 諸規程の一部改正(案)について
 - (1) 運営基本規程
 - (2) 職務権限規程
 - (3) 役員等の報酬及び給与に関する規定
 - (4) 経理規程
 - (5) 砧あんしんすこやかセンター「運営規程」
 - 第5号議案 評議員の退任について
 - 第6号議案 施設長の任免について

④ 報告事項

- ア 平成26年度東京都実地検査に対する改善状況について
- イ 「中野区立かみさぎこぶし園」指定管理者公募選定について

(4) 第4回 理事会(書面表決)

- ① 開催日 平成27年1月8日(木)
- ② 議 案
 - 第1号議案 世田谷更生館のフォークリフト購入に係る入札条件等の決定について

(5) 第5回 理事会（書面表決）

① 開催日 平成27年1月29日(木)

② 議案

第1号議案 世田谷更生館のフォークリフト購入に係る一般競争入札結果に伴う業者決定並びに物品購入契約の締結について

(6) 第6回 理事会・第3回評議員会

① 開催日 平成27年3月30日(月)

② 場 所 成城ホール・集会室C, D（世田谷区成城6-2-1）

③ 議案

第1号議案 平成26年度各会計収支補正予算（案）について

第2号議案 平成27年度事業計画（案）及び平成27年度各会計収支予算（案）について

第3号議案 諸規程の一部改正（案）について

（1）定款

第4号議案 評議員の退任及び選任について

第5号議案 施設長の再雇用について

④ 報告事項

世田谷施設敷地内の土地購入等について

3 本部事業等の実施状況

(1) 身体障害者更生援護啓蒙普及事業

① 第39回合同運動会

瑤子女王殿下におかれては総裁ご就任後初の合同運動会であり、実行委員長をお願いし例年のように司会進行もお務めいただいた。解散した柏朋会が新たに「柏・絆の会」と命名し、協力団体として参加した。主催9団体、協力4団体で672名が参加して、個人戦6、団体戦3の各競技を行った。新競技の仮装リレーは内容に工夫があり多いに楽しめた。皇宮警察本部音楽隊の素晴らしい演奏、学習院大學應援團の迫力ある応援合戦やチアリーダーによる素晴らしい演技が運動会に華を添えた大会であった。

ア 期 日 平成26年10月26日（日）

イ 会 場 世田谷区総合運動場体育館

ウ 主 催 合同運動会実行委員会

友愛十字会、世田谷区身体障害者福祉協会、ガールスカウト東京都第61・72・117団、ボーイスカウト世田谷第10団、世田谷区IKK福祉協会、日本体育大学社会体育研究会、慶應義塾大学ライチウス会、学習院大學應援団、世田谷区社会福祉協議会

エ 後 援 世田谷区

オ 参加者 672名のうち、当法人よりの参加者は202名（30%）であった。

当法人参加者の内訳（利用者：障害76名・高齢51名、職員75名）

② 「第48回宮様チャリティボウリング大会」及び「第38回障害者ボウリング大会」への協力
瑤子女王殿下がご臨席になられた。当法人は、社団法人日本ボウリング場協会主催の宮様

チャリティボウリング大会及び障害者ボウリング大会に協力した。一般の部では、男子 259 名と、女子 117 名が参加した。障害者の部では、男子 98 名、女子 30 名が、プロボウラーから指導を受けた後、障害者の大会でハイレベルな熱戦を展開した。終始、和やかな雰囲気であった。

ア 期 日 平成 26 年 11 月 23 日 (日)

イ 会 場 品川プリンスホテルボウリングセンター (港区高輪 4-10-30)

ウ 主 催 日本ボウリング場協会 (顧問 佐々木典夫会長)

エ 協 力 社会福祉法人 友愛十字会

オ 参加者 北海道、東北、関東、東海、関西、四国、九州から各地区の予選通過選手及び団体推薦、障害者推薦の 376 名が決勝戦に臨み、障害者は関東から九州までの 128 名が参加した。うち、当法人からは、32 名 (25%) が参加した。

カ 優勝者 宮様チャリティボウリング大会

男子の部 渡辺 亮 (栃 木) 238 点

女子の部 飯田 菜々 (NBF 推薦) 236 点

障害者ボウリング大会

男子の部 小滝 泰昭 (聴覚障害) 栃木 473 点 (2 ゲーム)

女子の部 中島 深雪 (聴覚障害) 千葉 361 点 (2 ゲーム)

③ 機関紙「ゆうあい」

7 月に No. 41、3 月に No. 42 を発行した。

(2) その他の事業

世田谷施設、板橋区の東京聴覚障害者支援センター、町田市の友愛荘及び港区立障害保健福祉センターは、それぞれ地域の町内会・商店会、後援会、ヴォランティア、施設利用者家族等の参加を得て、次の事業を実施した。

① 世田谷施設

今年度より世田谷施設に地域連携検討委員会を発足し、その下部組織として行事の準備運営のワーキンググループを組織した。行事の開催が目的ではなく、地域との連携を通して地域に貢献することを目指すこととした。地域で開催されるお祭りには有志を募り、新調した法人の法被を着用し、これまでになく多くの職員が地域住民との交流を図った。

ア 盆踊り大会

今年度は例年より遅い開催であったが、好天に恵まれ無事盛会裏に終了した。

(ア) 日 時 7 月 23 日 (水) 18:30~21:00

(イ) 場 所 世田谷施設中庭他

(ウ) 主 催 法人本部・世田谷施設、友愛十字会后援会

(エ) 協 賛 砧町町会、TMC 通り商店街

(オ) 参加者 1,855 名 (外部のみ)

イ 友愛ふれあい祭り

今年度は合同運動会の日程都合により、早い時期での開催となった。生憎の悪天候であったが、山野小学校の合唱披露等により、多くの来場者を迎えることができた。

(ア) 日 時 10 月 5 日 (日) 10:00~15:00

(イ) 場 所 世田谷施設中庭他

(ウ) 主 催 法人本部・世田谷施設

(エ) 協 賛 友愛十字会後援会、砧町町会、TMC通り商店街

(オ) 参加者 467名(外部のみ)

ウ 感謝の集い

昨年に引続き、世田谷施設全体での開催は2回目となった。民謡の講師ヴォランティアによる歌の披露等により、和やかな交流が図られた。

(ア) 日 時 12月19日(金) 15:30~17:00

(イ) 場 所 世田谷施設本館1階多目的室

(ウ) 主 催 法人本部・世田谷施設、友愛十字会後援会

(エ) 参加者 招待者92名中34名

② 世田谷施設以外

ア 東京聴覚障害者支援センター

(ア) 盆踊り大会 7月26日(土)

(イ) 餅つき大会 1月11日(日)

(ウ) ヴォランティアの受入れ(学習、盆踊り・踊り指導、外出支援、ほか諸行事協力)

イ 友愛荘

(ア) 地域交流納涼盆踊りの集い 8月6日(水)

(イ) ヴォランティアの受入れ(クラブ活動、盆踊り・踊り指導、他行事支援)

ウ 港区立障害保健福祉センター

(ア) ヒューマンぷらざまつり 10月26日(日)

なお、職員の喫煙に関する課題は、男女共同参画委員会の提言により全職員の健康増進を主たる目的に、東京聴覚障害者支援センター・友愛荘・港区立障害保健福祉センターに続き、世田谷施設を最後に全事業所において、本年度末をもって敷地内全面禁煙とした。

4 事業所設備の整備状況

本年度、本部及び施設において助成金等で整備を行った状況は、次のとおりである。

(1) 助成金等による整備

(単位：千円)

区 分	整 備 事 項 (助 成 者)	整備を必要とする 理由・内容	請負業者	金 額
世田谷更生館	フォークリフトの整備 (東京都)	授産作業において重量物の運搬が増大したために整備した	小松リフト株式会社	助成金 1,654 自 己 668 計 2,322
砧ホーム	浴室改修工事 (東京都共同募金会)	老朽化及び利用者の重度化に対応するため	株式会社エヌ・エス・ダイアクトリー 株式会社中央	助成金 4,860 自 己 2,559 計 7,419
計	件			助成金 6,514 自 己 3,227 計 9,741

(2) その他の整備

(単位：千円)

区分	施設整備・設備の名称	設備内容	契約者	所要額
世田谷更生館	作業場ドアの改修	別館作業場南側入り口サッシドアの改修工事	有限会社金杉硝子店	968
友愛園	浴室の整備	浴槽水自動滅菌装置	東京北研(株)	2,214
	ガス乾燥機2台購入	老朽化した乾燥機の更新	東京ガス	257
コーポ友愛	ホール空調の整備	老朽化した空調設備の更新	(株)ミタデン	341
友愛ホーム	浴槽水自動滅菌装置	レジオネラ症感染対策のため	東京北研(株)	2,181
	電子錠設置	認知症高齢者の離設予防対策	株式会社トップ	734
	ブラストチラー購入	故障のため入れ替え	日本給食設備株式会社	379
	喫煙室改修工事	確実な分煙実施のため	海藤工務店	380
砧ホーム	浴槽購入	多様化する利用者の身体状況に応じた入浴提供を行うため	関東エア・ウォーター株式会社	3,942
	〃	〃	酒井医療株式会社	2,667
	2階廊下床張替工事	2階廊下部の劣化に伴う改修	株式会社野村技研	1,350
	ルーフバルコニー防水工事	2階北側バルコニー劣化に伴う改修	海藤工務店	997
	介護リフト3台購入	ベッド敷込み固定型 持ち上げないケア実践のため	株式会社ニチイ学館	1,152
	防火扉電子錠設置	認知症高齢者の離設予防対策	株式会社トップ	613
	相談室エアコン購入	老朽化による入れ替え		124
砧デイサービスセンター	事務室移転・整備	認知症高齢者の離設予防対策	(株)泰成通信	145
	送迎口電子錠設置	認知症高齢者の離設予防対策	株式会社トップ	316
	正面口電子錠設置	認知症高齢者の離設予防対策	株式会社トップ	391
	パワーリハビリ機器 買い取り	経費削減のため	日立キャピタル株式会社	1,041
友愛荘	居室等の整備	利用者居室・廊下LED蛍光灯交換	(株)和光	1,480
	空調設備の整備	相談室と職員休憩室の老朽化した エアコンの交換	日昇住機サービス(有)	67
	浴室の整備	3階浴槽タイル剥離の修繕	山王設備工業(株)	59
東京聴覚障害者支援センター	スロープ補強工事	正面入り口スロープ端部分の破損防止のための補強工事	(株)リビング	75
	倉庫漏水工事	2F 倉庫内を通る貯水パイプからの漏水のための防止工事	松丸管工(株)	31
	浴室から脱衣室への浸水他	浴室から脱衣室の浸水防止工事 水栓不具合の取替	(株)リビング	754
	雨樋、プルボックス塗装	サビ、剥離の発生で建物内部への水漏れ防止工事	(株)安藤塗装	199
	TV ドアホン設置	3F 訓練室、事務所との連絡通信の効率化を図るため	国際電気	95
港区立障害保健福祉センター	プール改修工事	4階プール及び更衣室のリフォーム	営繕工事(株)	港区負担
計	27件			22,952

5 事業所の概況

(平成27年3月31日現在)

区分	施設の種別 (開設年月日)	所在地 (電話番号)	土地	建物	利用者 定員	
社会福祉施設	世田谷更生館 (館長 大平敏夫)	指定障害福祉サービス (S37. 9. 28)	〒157-0073 東京都世田谷区砧 3-9-11 法人本部 (代表電話) (03-3416-3164)	2,157.36 ^{m²}	60	
	友愛園 (園長 新垣 洋)	障害者支援施設 (S53. 5. 1)		2,087.94	60	
	コーポ友愛 (ホーム長 大平敏夫)	身障福祉ホーム (H 3. 8. 1)		781.90	20	
	友愛デイサービスセンター (センター長 木村浩二)	身障デイサービス (H 4. 4. 1)		321.76	(20)	
	友愛ホーム (園長 金井 博)	養護老人ホーム (S31.12.24)		2,086.59	70	
	砧ホーム (園長 宮崎 浩)	特別養護老人ホーム (H 4. 4. 1)		1,865.56	60	
	砧デイサービスセンター (センター長 宮崎 浩)	老人デイサービス (H 4. 4. 1)		540.89	(60)	
	砧地域包括支援センター (センター長 山本恵理)	老人居宅介護等事業 (H18. 4. 1)	〒157-0073 東京都世田谷区砧 5-8-18	—	—	
	東京聴覚障害者支援センター (所長 高橋秀志)	障害者支援施設 (S40. 7. 25)	〒174-0056 東京都板橋区志村 2-19-5 (03-3967-0051)	(913.78)	(980.47)	30 (6)
	友愛荘 (園長 田城利明)	特別養護老人ホーム (S49.11. 1)	〒194-0203 東京都町田市西町989 (0427-93-7530)	4,550.80	2,059.80	78
	港区立障害保健福祉センター 地域活動支援センター (施設長 松本光正)	(H10. 4. 1) 地域活動支援センター	〒105-0014 東京都港区芝 1-8-23 (03-5439-2511)	(4380.06)	(24321.61)	(40)
	こども療育 パオ (施設長 田口美登里)	療育発達相談				
工房アミ (施設長 太田政美)	生活介護事業所					
みなとワークアクティ (施設長 藤田康子)	就労継続支援B型事業所					
計			10,639.35 (5,293.84)	11,910.68 (25,302.08)	378 (166)	
事業所	第一作業所(友愛書房) (責任者 常務理事 金井 博)	身障法第22条の 売店 (S25.12. 1)	〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 中央合同庁舎5号館B1F (03-3591-4822)			
	砧介護保険サービス (センター長 宮崎 浩)	居宅介護支援 事業 (H12. 4. 1)	〒157-0073 東京都世田谷区砧 3-9-11 (03-3416-3164)			
合計			10,505.05 (5,293.84)	11,910.68 (25,302.08)	378 (166)	

備考1 土地・建物欄の()は指定管理施設の面積

備考2 東京聴覚障害者支援センターの土地と建物は東京都所有のため()で記載している。

備考3 定員欄の()は通所定員